

YARIS CROSS

「馬力向上」「燃費改善」

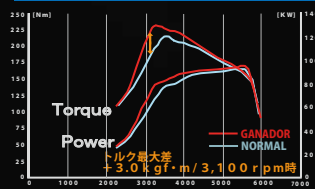
“Improved horse power” “Improved fuel efficiency”

パワーブーストシステム (P.B.S) 搭載マフラー



6AA-MXPJ15 (ハイブリッドE-Four)

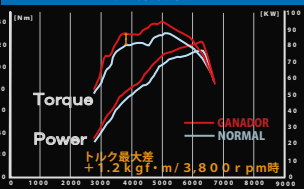
Power +5.5ps センターW出し
Torque +1.9kgf・m
Improved Fuel Efficiency (燃費改善率)
+11.6%UP (0.5H)



テール部のみポリッシュ仕上げ
品番:GVE-050PO ¥85,800 (税込)
テール部のみチタニウム製ブルー発色
品番:GVE-050BL ¥96,800 (税込)

5BA-MXPB15 (ガソリン4WD)

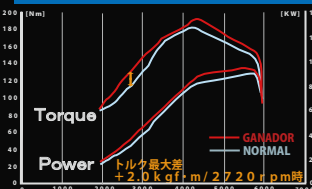
Power +7.9ps センターW出し
Torque +1.1kgf・m
Improved Fuel Efficiency (燃費改善率)
+12.9%UP (0.5H)



テール部のみポリッシュ仕上げ
品番:GVE-051PO ¥85,800 (税込)
テール部のみチタニウム製ブルー発色
品番:GVE-051BL ¥96,800 (税込)

6AA-MXPJ10 (ハイブリッド2WD)

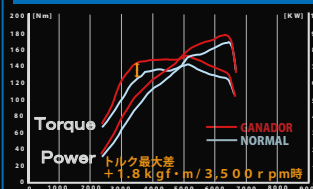
Power +5.2ps 右W出し
Torque +1.0kgf・m
Improved Fuel Efficiency (燃費改善率)
+11.9%UP (0.5H)



テール部のみポリッシュ仕上げ
品番:GVE-052PO ¥66,000 (税込)
テール部のみチタニウム製ブルー発色
品番:GVE-052BL ¥77,000 (税込)

5BA-MXPB10 (ガソリン2WD)

Power +6.6ps 右W出し
Torque +0.8kgf・m
Improved Fuel Efficiency (燃費改善率)
+12.6%UP (0.5H)



テール部のみポリッシュ仕上げ
品番:GVE-052PO ¥66,000 (税込)
テール部のみチタニウム製ブルー発色
品番:GVE-052BL ¥77,000 (税込)

YouTube



パワーブーストシステムの説明

Clarification of the Power Boost System



A パワー

車種ごとの構成要素（エンジン型式・特性・部品構成・取り回し・重量）等の固有条件に合わせた流体管理構造（P.B.S.）を組み込む事で、その性能をさらに大きく引き出すことに成功しました。（データ参照）

全く新しいテクノロジーで、燃料を過給することなく性能だけを伸ばす事を実現したスポーツ走行向けマフラー、性能の高い車両独特の効果です。

B 燃費

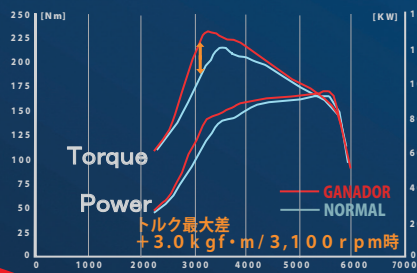
したがって、流れに合わせて、ゆったりと運転を続けると、強いパワーを使わなかった分の燃料は、そのままタンクに残ります。結果として、今まで以上に燃費は大きく改善します。（データ参照）

C サウンド

パワーアップとそのサウンドは、ドライバーの体力と注意力を維持、安全運転をサポートします。

マフラー計測データの一例

ヤリスクロスハイブリッド（E-Four）車の場合



Power + 5.5 ps
Torque + 1.9 kgf·m
Improved Fuel Efficiency
(燃費改善率) + 11.6 % UP

※データは、ガナドール社シャーンダイナモでの計測値です。
※ノーマルマフラーのデータ値は、車両個体差・気温・気候等の条件によりメーカーカタログ公表値とは異なる場合があります。
※比較データ値は、全て同じ条件下で計測しています。



ここがポイント！

燃費計測は**満タン法**を推奨します。

車載燃費計のある車両の場合、燃費データは新しいマフラーのデータが蓄積するまで、正確に表示しません。マフラー装着後の走行距離が少し必要になる場合があります。尚、燃費を比較する場合は満タン法を推奨します。（下記①満タン法参照）

ガナドール社の実走行燃費計測データの説明

Clarification of the fuel consumption data measured during actual running by Ganador

注1. 吸気系・排気系すべてがノーマルの車両を基準としてセッティングしてあります。ノーマルの状態でご使用下さい。

注2. 燃費データは、通常の実走行による対比計測データです。（満タン法 下図①）

これとは別に、流れに沿ってエコスタート・エコブレーキをすると、さらに燃費は改善します。

Leisurely driving keeps the fuel in the tank which hence fuel efficiency overwhelmingly improves

was supposed to be spent for supplying strong power, more than ever.

計測条件 ● 満タン法によるガナドール社実走行燃費比較

① 満タン法

(同じ給油条件)

車両のタイヤ位置と向きを同一にし、同じ油面で給油しています。

●燃費比較計測は最も正確と思われる「満タン法」で行っています。

※給油時の注意

同一のスタンドにて、同じ車両の向き、同じタイヤ位置で停車し、同じ油面で正確に給油し計測しています。（車載の燃費メーターでは正確に測定できませんのでご注意ください。）

●走行距離 (km) ÷ 給油量 (L) = 燃費 (km/L)

➡ 満タン給油時にオドメーターをリセット。

② 走行条件

(距離・速度を適正に保つ)

一般道や高速道路や山道をおりまぜています。

●【走行距離】ガナドール社参考データ

一般道 32 km (約 21%)

高速道路 95.2 km (約 63%)

山道 (登り・下り) 24.2 km (約 16%)

※一般道のみでの走行や距離が短すぎる場合、測定精度が落ちます。

●【速度設定】ガナドール社参考データ

一般道及び山道は、交通法規に準じ、流れに合わせて。

高速道路は、法定速度にて巡航。

③ 計測環境

(強風・雨・渋滞では中止)

悪天候の時はダメ 同じコンディションで測定しています。

● 同じ気温・気象条件で行っています。

● 強風・雨天などの悪天候、朝夕のラッシュ時を避け、同じ条件の日に実施。

➡ 途中で渋滞や強風が発生したら中止し、初めからやり直します。

④ 全く同条件で運転

(加速時間と所要時間が同じであることが最も大事な条件)

ノーマルマフラーで 50 km/h までの加速時間が 5.0 秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ 5.0 秒で加速しています。

● 同じ距離を、同じ加速、同じスピード、同じ所要時間で計測をしています。

【良い例】例えば、ノーマルで 50 km/h までの加速時間が 5.0 秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ 5.0 秒かけて加速するのが比較条件。

【悪い例】加速が早く、所要時間が短かった場合、アクセルを踏み込み過ぎているので比較計測になりません。

計測風景

※ナンバープレートは合成です。

一般道路

高速道路

往路

一般道路

登坂道路



給油後、一般道路からスタート。



同一速度での走行厳守。



山まで、しばらく一般道路。



マフラーの威力を発揮する連続した登り坂。

出発ポイント

到着ポイント

ヤリスクロスハイブリッド（E-Four）車の場合 GVE-0.50 シリーズ リアビースマフラー

中間ポイント

計測風景と結果（満タン法）

Improved Fuel Efficiency (燃費改善率) + 11.6 % UP

総走行距離 151.4 Km

一般道路 32.0 km (21.1%)
高速道路 95.2 km (62.9%)
山間道路 24.2 km (16.0%)



決められたスタンドで、同じ給油条件で燃費計測。



高速道路を降りて一般道路へ。



ここでも同一速度をキープ。



山を降りて、しばらく一般道路。



折り返し地点で、一息。



下り坂も同一ペースで走行。

一般道路

高速道路

復路

一般道路

降坂道路

計測データ

※ハイブリッド E-Four データ

燃費比較計測データ (ガナドール社データ)	走行距離 (km)	給油量 (L)	Improved Fuel Efficiency (燃費改善率)
ノーマルマフラー	151.4	6.53	...
GANADOR マフラー GVE-0.50 マフラー	151.4	5.85	11.6% 改善

各種計測データ (ガナドール社データ)	Power (ps)	Torque (kgf·m)	717リットル音 (dB)	近接音 (dB)※	重量 (kg)
ノーマルマフラー	125.7	22.1	62.0	69.0	5.6
GANADOR マフラー GVE-0.50 マフラー	131.2	24.0	62.0	81.0	8.6

※近接音量は、回転リミッター作動の為 4,400 rpm 時の測定値です。